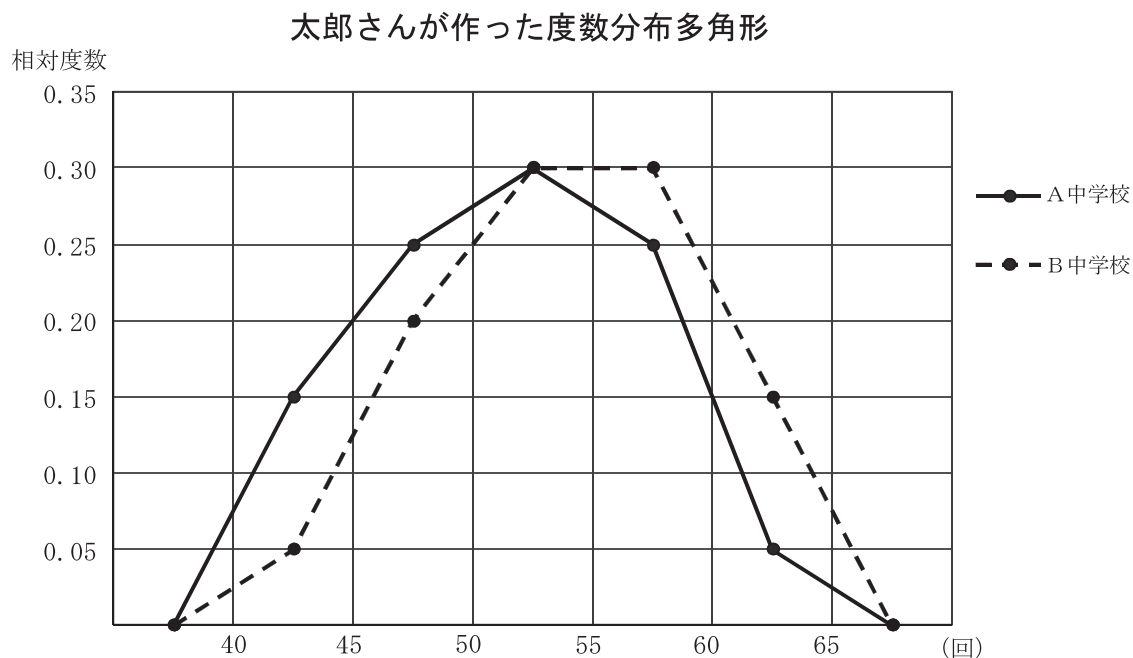


9

太郎さんは、A 中学校の生徒 100 人と B 中学校の生徒 40 人の反復横跳びの記録を比べるために、回数の階級ごとに相対度数を求め、相対度数の度数分布多角形（度数折れ線）に表しました。次の（１），（２）の各問いに答えなさい。



（１） 太郎さんが、A 中学校の生徒と B 中学校の生徒の反復横跳びの記録を比べるために、相対度数を用いた理由を説明しなさい。

（２） 太郎さんが作った度数分布多角形から、A 中学校の生徒と B 中学校の生徒の反復横跳びの記録について、正しく述べているものを、次のアからウの中から 1 つ選びなさい。

ア 50 回以上 55 回未満の階級では、A 中学校も B 中学校も相対度数は等しい。したがって、A 中学校と B 中学校の中央値は等しくなる。

イ 反復横跳びで跳んだ回数が、最も多い生徒の記録と最も少ない生徒の記録の差は、A 中学校も B 中学校も 25 回であり、等しい。

ウ A 中学校の度数分布多角形よりも、B 中学校の度数分布多角形の方が右側にある。したがって、B 中学校の生徒の方が反復横跳びの回数が多い傾向にある。